

持続可能な経営体の育成による魅力あるゆとり農業の実現

～ 夢・安心・笑顔 法人経営でがっちり！ ～

活動対象：名寄市智恵文瑞和地区（1法人・2戸）

農業経営の持続とゆとりある農業経営を目指し、次の取組を行った。①栽培管理支援→収支及び経営計画目標の達成、②満足度意向調査による法人の課題を把握し、改善策を提案→5項目で改善を開始、③加工用キャベツ、てんさいの直播栽培など省力化栽培技術の検討と提案→試験ほを設置し、課題の整理や導入の可能性を模索、休日を78日取得、④土壌硬度や断面調査の実施、土壌改良効果の確認による土壌改良→酪農家と連携し、有機物（バイオガスプラント消化液・堆肥）を施用。

1 課題の背景

長雨・高温乾燥・気象変動
土づくりの必要性

粘質ほ場・透排水性が悪い
耕起・移植作業の遅れ

★法人
(構成員平均年齢 50歳)
★A農家 (71歳)
★B農家 (38歳)

農業経営の持続と
ゆとりある農業経営 を目指し

収支計画・作業計画の達成

ゆとりの創出・省力化

安定生産・土づくり

に取り組む

2 活動の経過

(1) 収支計画に基づく農業経営の実践

経営計画の達成のために
栽培管理支援を実施

個別巡回、現地研修会、栽培講習
FAX情報
(品目：秋まき小麦、大豆、ばれい
しよ、アスパラガス、かぼちゃ)



風通しの良い法人運営、
永続的な農業経営の展開

・問題点や改善点を把握するため、
構成員・従業員を対象に、「満足度調査」を年2回実施
・農研機構『農業法人における人材
定着施策と改善ツール』を活用



(2) 法人経営における作業体系の確立

ゆとり創出のために
省力化栽培技術を検討・支援

①加工用キャベツ

4月に法人代表と打合せ、改善策を提案

<移植> 適期は種を提案

<直播> は種後のかん水を提案
実証ほの設置



②てんさい直播栽培

・他地区の栽培体系を基に施肥量や
雑草防除等について情報提供
・碎土率や出芽率、生育等を調査



(3) 土壌改良による土づくりの推進

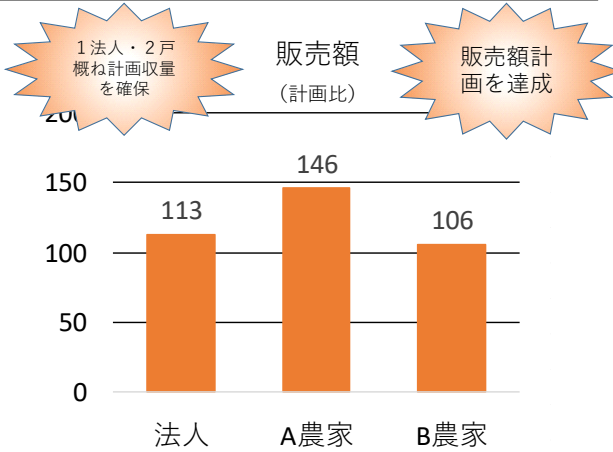
緑肥・堆肥の
施用効果を
確認

- ・緑肥（法人&B氏）
は種子定ほ場で土壌分析、土壌硬度調査
- ・堆肥
未施用(法人)及び施用(A氏)のかぼちゃほ場の土壌分析、土壌硬度調査、土壌断面調査
- ・土壌断面調査、硬度調査の報告



3 活動の成果

(1) 収支計画に基づく農業経営の実践

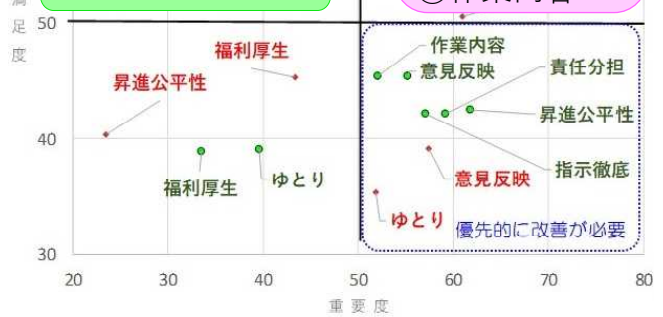


満足度調査
を実施
(2回)

法人では
5項目で改善の取組始まる

- ①意見反映
- ②ゆとり
- ③方針の徹底
- ④休日休暇
- ⑤作業内容

「優先的に改善が必要」
な項目が明らかに



(2) 法人経営における作業体系の確立

①加工用キャベツ 直播栽培の課題を整理

移植栽培

適期は種の実践



①出芽率の確保

②生育初期の防除

③除草体系の確立

調整重
10t/10a以上
を達成

必要なときに
休みを取
得しやす
くなったわ

②てんさい直播栽培

根重は移植
栽培の86%
を確保

女性構成員・従業員
の休日取得日数
78日
(目標100日/年)

(3) 土壌改良による土づくりの推進



バイオガスプラント
消化液の散布
(10ha)



秋の堆肥散布
(5ha)



こんなに深く
根が張って
いるんだね!

堆肥以外に、
緑肥の栽培も
検討したいね



4 今後の課題

(1) ゆとりある農業経営の実践

(2) 土壌改良による土づくりの推進